

協力会社・事故防止安全会議			
会社名	A運送(株)	協力会社	B(株) (荷主)、C運輸(株)
実施日	令和6年7月20日	実施時間	14:00～15:00
進行役	東京 太郎	実施場所	休憩室
議題 ・他社の活用しているヒヤリ・ハット情報からの事故防止について ・ヒヤリ・ハット報告の集計・相互の共有方法について ・ヒヤリ・ハット活用の進め方について 会議内容 ・ヒヤリ・ハットについては、集計方法、今後への活用方法が確立されていないと集めても何の意味も要さない ので、集計方法から理解する必要がある。ヒヤリ・ハット情報から、独自のKYTシートを作成しドライバー に実施させるのも、理解を深める手法の一つではないか。 ・各社で情報を共有することで、さらなる事故防止につながるのではないか。 結論（今後の対策） ・ヒヤリ・ハット報告書の統計を集計し、事例を使用しドライバーに理解させる。 ・独自のKYTシート等を作成し、指導方法を画一する。 ・安全対策会議にて全運転者に実施させるように発表する。 ・今後の事故防止会議にて、各社で共有できるように情報交換に努める。 ※相手先会社数及び出席人数は制限がない。1名でも参加していれば対象となる。			
参考資料	・国土交通省ヒヤリ・ハット資料 ※議事録のほかに使用した資料も添付する		
協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名
B(株) ○○○○	C運輸 △△△△		
B(株) ××××	C運輸 □□□□		
出席者名	出席者名	出席者名	出席者名
東京 花子	四谷 三郎		
新宿 太郎			
荒木 二郎			

※ 自社出席者と協力会社出席者は必ずマーカー等で色分けを行うこと